

平成 30 年 度 工 事	部 長	課 長	係 長	精査主任	設 計
---------------	-----	-----	-----	------	-----

市営河崎住宅49R 1棟長寿命化改善建築主体工事 内 訳 書

金 _____ 円 也

工 期： 契約日～平成31年9月24日まで
 工事場所： 米子市河崎1748番地4

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	小 計	備 考
A	直 接 工 事 費		1	式			
B	共 通 費						
	共 通 仮 設 費		1	式			監理事務所補正あり
	現 場 管 理 費		1	式			産廃処分税計上
	一 般 管 理 費 等		1	式			契約保証費計上
	小 計 (共通費)						
	工 事 価 格						
	消費税及び地方消費税相当額		1	式			
	総 合 計						

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
I	建築工事	全館無人 改修						
a)	一般工事							
A	外装・共用部改修工事			1	式			
B	バリアフリー スロープ新設工事			1	式			
C	1階バリアフリー 改修工事			1	式			
D	2～4階 改修工事			1	式			
E	物置棟 改修工事			1	式			
F	外構工事			1	式			
G	解体・撤去工事			1	式			
	小計							
b)	その他工事							
F	外構工事			1	式			
c) H	発生材処分費			1	式			
	合計							

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
A	外装・共用部改修工事							
A1	直接仮設工事			1	式			
A2	金属製建具工事			1	式			
A3	劣化部補修工事			1	式			
A4	仕上工事			1	式			
A5	ユニット・金物・雑工事			1	式			
	小計							

工 種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
A1	外装・共用部改修工事 直接仮設工事							
●	墨出 外壁改修			73.9	m ²			
	養生 外壁改修			139	m ²			
	整理清掃後片付 外壁改修			139	m ²			
	養生 防水改修		露出防水	199	m ²			
	整理清掃後片付 防水改修		露出防水	199	m ²			
●	枠組本足場(手摺先行方式)		W900H12m未満 180日 運搬費共	854	m ²			
	安全手摺(手摺先行方式)		枠組本足場用 180日 運搬費共	73.3	m			
	防音シート張り		解体時 30日	854	m ²			
	ネット状養生シート		防災I類 150日	854	m ²			
	脚立足場	バルコニー用	30日 運搬費共	211	m ²			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
A2	外装・共用部改修工事 金属製建具工事							
●	【カバー工法】							
	AW2 防火設備		アルミ水切とも	9	ヶ所			
	運搬費			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【ガラス】							
	PW6.8		清掃共 ガラス止別途	9.5	m ²			
	ガラスシール		防火設備用	104	m			
●	【塗装改修】							
	SOP塗替 改修仕様	SD-2	鋼製建具面B種 下地調整RB種 錆止工程C種	26.0	m ²			
●	【建具周囲】							
	窓台モルタル		糸巾150	38.4	m			
	水切モルタル		糸巾170	14.4	m			
	ウレタン塗膜防水(X-2)	水切	新設モルタル面	14.4	m			
	シーリング MS-2 W10~15		建具枠周囲 ノンワーキング	53.1	m			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
A3	外装・共用部改修工事 劣化部補修工事							
	施工数量調査 外壁		仕上塗材改修	837	m ²			
	施工数量調査 基礎立上		仕上塗材改修	57.6	m ²			
	施工数量調査 階段室内部		仕上塗材改修	425	m ²			
	施工数量調査 見上面		仕上塗材改修	37.6	m ²			
	クラック補修		自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	207	m			
	クラック補修		Uカットシーリング材充填工法	5.2	m			
	モルタル 浮き補修		アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	1.2	m ²			
	モルタル 浮き補修		ポリマーセメントモルタル充填工法 既存撤去は別途	1.1	m ²			
	モルタル 浮き補修		モルタル塗替工法 既存撤去は別途	12.2	m ²			
	欠損部・露筋補修 0.01m ² 以下		エポキシ樹脂モルタル充填工法	64	ヶ所			
	欠損部・露筋補修 0.05m ² 未満		エポキシ樹脂モルタル充填工法	52	ヶ所			
	欠損部・露筋補修 0.05m ² 以上		エポキシ樹脂モルタル充填工法	28	ヶ所			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
A4	外装・共用部改修工事 仕上工事							
	水洗	塗装改修部		909	m ²			
	水洗	基礎立上・階段室床		165	m ²			
	壁モルタル塗り	PS内部	刷毛引き	75.7	m ²			
	壁モルタル塗り	増設外壁	刷毛引き	73.9	m ²			
	防水型複層塗材 E	外壁	下地調整費(C-1)共	975	m ²			
	外装薄塗材 E	階段室内部	下地調整費(C-1)共 砂壁状	46.1	m ²			
	外装薄塗材 E	見上面	下地調整費(C-1)共 砂壁状	37.6	m ²			
	屋上防水補修 ハト小屋立上		ウレタン塗膜防水(X-2) φ200程度	7	ヶ所			
	屋上防水補修 給水管架台基礎		ウレタン塗膜防水(X-2) 100□程度	50	ヶ所			
	屋上防水補修 高架水槽基礎・アンテナ撤去部		ウレタン塗膜防水(X-2) 300□程度	8	ヶ所			
	屋上防水補修 アンテナ引込基礎A		ウレタン塗膜防水(X-2) 100×800程度	2	ヶ所			
	屋上防水補修 アンテナ引込基礎B		ウレタン塗膜防水(X-2) 300×900程度	2	ヶ所			
	ウレタン塗膜防水(X-2)	階段庇	既存モルタル下地	11.0	m ²			
	シーリング PU-2		躯体目地 ポリウレタン系 幅20	49.9	m			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
A5	外装・共用部改修工事 ユニット・金物・雑工事							
	竖樋N		カラーVP100φ	36.0	m			
	防風パネル	W840H1500	PS	アルミ押出成型材、アルミパネル	6	ヶ所		
	防風パネル	W840H2000	PS	アルミ押出成型材、アルミパネル	12	ヶ所		
	集合郵便受		SUS製ダイヤル錠 8戸分	3	ヶ所			
	掲示板		アルミ枠ビニルレザー製 W900H600程度	3	ヶ所			
	アルミ庇	1F玄関	W2500D900	6	ヶ所			
	物干金物		アルミ製H530	18	組			
	物干金物		アルミ製H740	6	組			
	隔板		アルミ枠 ケイカル板t5.0 塗装品	20	ヶ所			
	床下換気口		SUS製 網付 W400H160程度	12	ヶ所			
	SOP塗替	竖樋S	下地調整RB種	34.5	m			
	避難経路改修 【ER1】		躯体改修・仕上補修共	4	ヶ所			
	避難経路改修 【ER2】		躯体改修・仕上補修共	2	ヶ所			
	避難経路改修 【ER3】		躯体改修・仕上補修共	2	ヶ所			
	避難ハッチ		SUS製 W600D520	6	ヶ所			
	電気設備開口閉塞 【E11】		躯体改修	2	ヶ所			
	電気設備開口閉塞 【E21】		躯体改修	1	ヶ所			
	電気設備開口閉塞 【E22】		躯体改修	1	ヶ所			
	電気設備開口閉塞 【E23】		躯体改修	1	ヶ所			
	電気設備開口閉塞 【E31】		W400H160	9	ヶ所			
	小計							

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
B	バリアフリー スロープ新設工事							
B1	直接仮設工事			1	式			
B2	土地業工事			1	式			
B3	躯体工事			1	式			
B4	仕上・金物・雑工事			1	式			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
B1	バリアフリー スロープ新設工事 直接仮設工事							
	遣方		小規模	162	m ²			
	墨出し		RC造 地上階 小規模	162	m ²			
	養生		RC造 地上階 小規模	162	m ²			
	整理・清掃・後片付け		RC造 地上階 小規模	162	m ²			
	地足場		10日 運搬費共	162	m ²			
	小計							

工種	名称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
B2	バリアフリー スロープ新設工事 土地業工事							
	根切		バックホウ0.45m3	163	m3			
	埋戻し(B種)		発生土	115	m3			
	盛土(B種)		発生土	48.0	m3			
	盛土(A種)		山砂の類	17.4	m3			
	床付		総掘	270	m ²			
	砂利地業		再生クラッシュヤラン	25.3	m3			
	小計							

工種	名称	品名	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
B3	バリアフリー スロープ新設工事 躯体工事							
●	異形鉄筋	SD295A	D13	1,007	kg			
	異形鉄筋	SD295A	D10	4,176	kg			
	鉄筋加工組立		小型工作物	5.0	t			
	鉄筋運搬		4t 30km	5.2	t			
	スクラップ控除		H2	200	kg			
	ワイヤメッシュ			3.5	m ²			
	開口補強		200φ以下	54	ヶ所			
	開口補強		100φ以下	29	ヶ所			
●	型枠		普通合板型枠 基礎部	333	m ²			
	型枠		打放合板型枠B種 壁式構造 地上部	178	m ²			
	型枠運搬		4t車	511	m ²			
●	生コンクリート 米子土木事務所10	捨コン	JIS A5308 FC=18 S15 粗骨材20	5.8	m ³			
	生コンクリート 米子土木事務所10	基礎 腰壁	JIS A5308 FC=21+∠3 S15 粗骨材20	58.2	m ³			
	生コンクリート 米子土木事務所10	土間	JIS A5308 FC=21+∠3 S15 粗骨材20	23.1	m ³			
	打設手間		捨コン等 カート	5.8	m ³			
	打設手間		べた基礎 立上り壁 ポンプ	58.2	m ³			
	打設手間		土間コン等 ポンプ	23.1	m ³			
	ポンプ圧送費			81.3	m ³			
	圧送基本料			3	回			
●	化粧目地			404	m			
	スタイロフォーム		t=50	59.2	m ²			
	小計							

工種	名称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
B4	バリアフリー スロープ新設工事 仕上・金物・雑工事							
	床 コンクリート直均し		直均し仕上	154	m ²			
	床 モルタル塗		直仕上	2.7	m ²			
	笠木天端 コンクリート直均し			142	m			
	防水型複層塗材 E		下地調整費(C-1)共	79.2	m ²			
	コンクリート保護材塗り クリア仕上		水性アクリルシリコン系	53.3	m ²			
	打放面補修 B種		コーン処理 部分目違払い	132	m ²			
	シーリング PU-2		躯体目地 ポリウレタン系 幅20	120	m			
	排水溝蓋		SUS製t3.0W150 枠共	6.0	m			
	ピットモルタル			2.5	m ²			
	階段滑り止め		ステンレス製	17.6	m			
	ステンレス手摺		床付 2段	142	m			
	床見切		SUS角パイプt1.2 20×20 アンカー共	10.9	m			
	換気フード		ステンレス製丸型 φ100防虫網付	12.0	ヶ所			
	床下換気配管		VP φ 100 地中	60.2	m			
	既存換気口 モルタル充填		W400H160	6.0	ヶ所			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
C	1階バリアフリー 改修工事							
C1	直接仮設工事			1	式			
C2	躯体工事			1	式			
C3	金属製建具工事			1	式			
C4	木製建具工事			1	式			
C5	内装仕上工事			1	式			
C6	ユニット・金物・雑工事			1	式			
	小計							

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
C1	1階バリアフリー 改修工事 直接仮設工事							
	墨出し (内部改修)		複合改修	300	m ²			
	養生 (内部改修)		複合改修	300	m ²			
	整理・清掃・後片付け (内部改修)		複合改修	300	m ²			
	内部足場 脚立足場		90日 運搬費共	300	m ²			
	小計							

工 種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
C2	1階バリアフリー 改修工事 躯体工事							
●	樹脂系アンカー		D16 下 10d+20d ナット付	48	本			
	樹脂系アンカー		D16 横 10d+20d ナット付	48	本			
	樹脂系アンカー		D16 上 10d+20d ナット付	48	本			
	金属系アンカー		D13 20d 下向き	240	本			
	金属系アンカー		D13 20d 横向き	528	本			
	金属系アンカー		D13 20d 上向き	72	本			
	スパイラル筋	材工	6φ@50 100φ	120	m			
●	異形鉄筋	SD295A	D16	194	k g			
	異形鉄筋	SD295A	D13	311	k g			
	異形鉄筋	SD295A	D10	999	k g			
	鉄筋加工組立			1.4	t			
	鉄筋運搬		4t車 30km以内	1.5	t			
	スクラップ控除		H2	57.0	k g			
	フレア溶接		D16	144	ヶ所			

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
C3	1階バリアフリー 改修工事 金属製建具工事							
●	【新設】軽量鋼製玄関戸							
	LSD-11			6	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【新設】アルミサッシ							
	AW-11		網戸・アルミ水切共	6	ヶ所			
	AW-21		網戸・アルミ水切共	6	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【既存改修】網戸追加							
	AD-1 網戸		網戸レール共	6	ヶ所			
	AW-1 網戸		網戸レール共	6	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【既存改修】アタッチメントガラス							
	アタッチメントガラス入替 複層透明ガラス		FL3+A6+FL3 2㎡以下	16.3	㎡			
	アタッチメントガラス入替 複層型ガラス		F4+A6+FL3 2㎡以下	11.6	㎡			
	ビードケレン			146	m			
●	【新設】ガラス							
	複層透明ガラス FL3+A6+FL3		2㎡以下 ガラスシール・清掃共	4.4	㎡			
	複層型ガラス F4+A6+FL3		2㎡以下 ガラスシール・清掃共	4.0	㎡			

工 種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
●	【建具周囲】							
	建具周囲 防水モルタル充填		外部建具	72.8	m			
	窓台モルタル		糸巾150	31.2	m			
	シーリング MS-2 W10～15		建具枠周囲 ノンワーキング	140	m			
	サッシ額縁 D60以下		ヒノキt30 塗装別途	64.2	m			
	サッシ額縁 D120以下		ヒノキt30 塗装別途	39.6	m			
	OS塗(糸巾300以下)	額縁	木部 素地付着物除去	104	m			
	OS塗(糸巾300以下) 改修仕様	既存額縁	木部 素地付着物除去	64.2	m			
	小計							

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
C4	1階バリアフリー 改修工事 木製建具工事							
●	WD-31		金物とも	12	ヶ所			
	WD-32		金物とも	6	ヶ所			
	WD-33		金物とも	6	ヶ所			
	WD-41		金物とも	6	ヶ所			
	WD-42		金物とも	6	ヶ所			
	WD-43		金物とも	6	ヶ所			
	ガラス			1	式			
	同上取付調整費			1	式			
●	建具枠		パイン集成材t30 D100程度	91.9	m			
	建具枠		パイン集成材t30 D200程度	89.8	m			
	建具枠		パイン集成材t30 D300程度	29.9	m			
	額縁 UB出入口		樹脂製t24	36.8	m			
	小計							

工種	名称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
C5	1階バリアフリー 改修工事 内装仕上工事							
床	土間モルタル塗金鍍押え		ビニル系床材下地	6.9	m ²			
	玄関 塩ビシート		t=2.5 熱溶着 防滑仕様	6.9	m ²			
	セメント系セルフレベリング		t10程度	73.4	m ²			
	転ばし根太		ヒノキ一等 90×30@300	73.4	m ²			
	樹脂束		H180程度	24	本			
	樹脂束		H60程度	36	本			
	際根太		ヒノキ 一等 45×60	46.8	m			
	小梁掛		ベイマツ 一等 (防腐剤注入K3) 60×120 L400	36	本			
	小梁		ベイマツ 一等 (防腐剤注入K3) 120×120	19.4	m			
	大引掛		ベイマツ 一等 (防腐剤注入K3) 45×90 L300	12	本			
	大引		ベイマツ 一等 (防腐剤注入K3) 90×90	21.6	m			
	根太掛		スギ 一等 (防腐剤注入K3) 45×90	259	m			
	根太		スギ 一等 (防腐剤注入K3) 45×90@300	168	m ²			
	防腐剤塗布 既存梁受		60×120 L400	60	本			
	防腐剤塗布 既存梁		120×300 L3700	30	本			
	床合板張		材工共 T1 t=12	242	m ²			
	床合板張		材工共 T1 t=15	19.1	m ²			
	床合板張		材工共 T1 t=5.5	19.1	m ²			
	床 塩ビシート		t=2.0 熱溶着	261	m ²			
	塩ビ巾木		H=60	279	m			

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
壁	軽量鉄骨壁下地	50型	下地張りなし@300	319	m ²			
	軽量鉄骨壁下地	65型	下地張りなし@300	181	m ²			
	軽量鉄骨壁下地	100型	下地張りなし@300	20.2	m ²			
	軽量鉄骨下がり壁下地	19型	H300~500	10.9	m			
	壁 石膏ボード(GB-R)		t=12.5 継目処理	526	m ²			
	壁 シーリング石膏ボード(GB-S)		t=12.5 継目処理	132	m ²			
	壁 石膏ボード(GB-R)		t=12.5 下地張り	35.6	m ²			
	壁 シーリング石膏ボード(GB-S)		t=12.5 下地張り	4.2	m ²			
	壁 化粧ケイカル板		コーキング共	4.2	m ²			
	壁 不燃メラミン化粧板		t3.0	17.9	m ²			
	壁 ビニルクロス		ボード面 素地B種共	658	m ²			
	壁 エアコン取付下地		T1合板 t=12 W1250H400	12	ヶ所			
天井	軽量鉄骨天井下地	19型	下地張りなし@225 インサート含	75.7	m ²			
	木製直天下地		スギ 一等 45×60@303	185	m ²			
	天井 化粧石膏ボード(GB-D)		t=9.5 準不燃	261	m ²			
	天井廻縁		塩ビ	427	m			
	小計							

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
C6	1階バリアフリー 改修工事 ユニット・金物・雑工事							
	ユニットバス 1416		長寿社会対応同等仕様	6	組			
	同上組立工事費			6	組			
	キッチンユニット		流し台・ガス台・吊戸棚 レンジフード・水切棚・取付費共	6	組			
	ニースペース点検口		メラミ化粧合板t24 扉・FIX部 下地共	6	ヶ所			
	下足入		ポリ合板フラッシュ	6	ヶ所			
	棚板		集成材t25D300 塗装別途	19.4	m			
	CL塗		工程B種 素地B種	11.6	m ²			
	枕棚A		ポリ合板t30 W890D900千度	12	ヶ所			
	枕棚B		ポリ合板t30 W2640D450程度	6	ヶ所			
	壁見切B		ヒノキ-30×30 塗装別途	10.2	m			
	OS塗(糸巾300以下)	額縁	木部 素地付着物除去	10.2	m			
	壁見切A		アルミ製	16.0	m			
	床見切		SUS製W40	8.2	m			
	カーテンレール	ステンレス	ダブル	26.4	m			
	I型手摺		樹脂被覆製 φ34L600	12	ヶ所			
	L型手摺		樹脂被覆製 φ34 600×700	6	ヶ所			
	跳上手摺		樹脂被覆製 L700	6	ヶ所			
	エアコンスリーブ		樹脂製φ100 内外キャップ コア抜別途	12	ヶ所			
	給気レジスター		樹脂製φ75 網付 コア抜別途	12	ヶ所			
	貫通穴明		100φ程度 t150~200	18	ヶ所			
	床点検口		アルミ製450□ 屋内用一般貼物用	6	ヶ所			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D	2~4階 改修工事							
D1	直接仮設工事			1	式			
D2	躯体工事			1	式			
D3	金属製建具工事			1	式			
D4	木製建具工事			1	式			
D5	内装仕上工事			1	式			
D6	ユニット・金物・雑工事			1	式			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D1	2～4階 改修工事 直接仮設工事							
	墨出し (内部改修)		複合改修	889	m ²			
	養生 (内部改修)			889	m ²			
	整理・清掃・後片付け (内部改修)		複合改修	889	m ²			
	内部足場 脚立足場		90日 運搬費共	889	m ²			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D2	2～4階 改修工事 躯体工事							
●	樹脂系アンカー		D16 下 10d+20d ナット付	108	本			
	樹脂系アンカー		D16 上 10d+20d ナット付	108	本			
	金属系アンカー		D13 20d 下向き	54	本			
	金属系アンカー		D13 20d 横向き	342	本			
	金属系アンカー		D13 20d 上向き	54.0	本			
	スパイラル筋	材工	6φ@50 100φ	108	m			
	スパイラル筋	材工	6φ@50 75φ	54.2	m			
●	異形鉄筋	SD295A	D16	171	kg			
	異形鉄筋	SD295A	D10	186	kg			
	鉄筋加工組立			0.3	t			
	鉄筋運搬		4t車 30km以内	0.4	t			
	フレア溶接		D16	216	ヶ所			
	フレア溶接		D13	126	ヶ所			
	スクラップ控除		H2	14.0	kg			

工種	名称	品種	形状寸法	数量	単位	単価	小計	摘要
●	型枠		普通合板型枠 壁式構造 地上部	58.8	m ²			
	型枠運搬		4t車	58.8	m ²			
●	生コンクリート		JIS A5308 FC=21+∠3 S15 粗骨材20	5.0	m ³			
	打設手間		躯体 ポンプ	5.0	m ³			
	ポンプ圧送			5.0	m ³			
	圧送基本料			3	回			
●	鉄筋切断部 鉄筋補強		D10 フレア溶接共	289	本			
	鉄筋切断部 断面補修		コンクリート 鉄筋ハツリ出し共	101	ヶ所			
	打継目地			163	m			
	目アラシ		壁	27.7	m ²			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D3	2～4階 改修工事 金属製建具工事							
●	【新設】アルミサッシ							
	AW-12 防火設備		網戸・アルミ水切共 窓手摺共	18	ヶ所			
	AW-22 防火設備		網戸・アルミ水切共	18	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【新設】窓手摺							
	AW-12 アルミ手摺		1500×850 ガラス留材別途・清掃共	18	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【既存改修】網戸追加							
	AD-1 網戸		網戸レール共	36	ヶ所			
	AW-1 網戸		網戸レール共	18	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
●	【既存改修】アタッチメントガラス							
	アタッチメントガラス入替		FL3+A6+FL3 2㎡以下	73.2	㎡			
	アタッチメントガラス入替		F4+A6+FL3 2㎡以下	59.1	㎡			
	ビードケレン			677	m			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
●	【既存改修】金物取替・調整							
	SD-1		DC調整、錠取替	18	ヶ所			
	運搬搬入			1	式			
	取付調整費			1	式			
	SOP塗替 改修仕様	SD-1	鋼製建具面B種 下地調整RB種 錆止工程C種	79.3	m ²			
●	【新設】ガラス							
	複層網入ガラス F L 3 + A b + P W b . 8 t W (8 . 8)		2m ² 以下 ガラス留材別途・清掃共	21.3	m ²			
	ガラスシール		防火設備用	274	m			
●	【建具周囲】							
	建具周囲 防水モルタル充填		外部建具	137	m			
	窓台モルタル		糸巾150	103	m			
	シーリング MS-2 W10～15		建具枠周囲 ノンワーキング	475	m			
	サッシ額縁 D60以下		ヒノキt30 塗装別途	93.6	m			
	サッシ額縁 D120以下		ヒノキt30 塗装別途	43.2	m			
	OS塗(糸巾300以下)	額縁	木部 素地付着物除去	137	m			
	OS塗(糸巾300以下) 改修仕様	額縁	木部 素地付着物除去	284	m			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D4	2～4階 改修工事 木製建具工事							
●	WD-11		金物とも	18	ヶ所			
	WD-21		金物とも	18	ヶ所			
	WD-22		金物とも	18	ヶ所			
	WD-23		金物とも	18	ヶ所			
	ガラス			1	式			
	同上取付調整費			1	式			
●	WD-1		腰部仕上 搬入出取付費とも	18	ヶ所			
	F-1		襖紙取替、引手取替 搬入出取付費とも	18	ヶ所			
	F-2		襖紙取替、引手取替 搬入出取付費とも	18	ヶ所			
	F-3		襖紙取替、引手取替 搬入出取付費とも	18	ヶ所			
●	建具枠		パイン集成材t30 D100程度	77.4	m			
	建具枠		パイン集成材t30 D150程度	291	m			
	額縁 UB出入口		樹脂製t24	97.2	m			
	OS塗(糸巾300以下) 改修仕様	既存枠	木部 素地付着物除去	714	m			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D5	2～4階 改修工事 内装仕上工事							
床	土間モルタル塗金鋸押え		ビニル系床材下地	22.0	m ²			
	玄関 塩ビシート		t=2.5 熱溶着 防滑仕様	20.7	m ²			
	セメント系セルフレパリング			401	m ²			
	転ばし根太		ヒノキ一等 90×30@300	401	m ²			
	樹脂束		H170程度	72	本			
	樹脂束		H130程度	108	本			
	樹脂束		H60程度	324	本			
	際根太		ヒノキ 一等 45×60	401	m			
	床合板張		材工共 T1 t=12	401	m ²			
	床合板張		材工共 T1 t=15	199	m ²			
	床合板張		材工共 T1 t=5.5	199	m ²			
	床 塩ビシート		t=2.0 熱溶着	600	m ²			
	床 畳敷 1畳		D種 畳表:C2 畳床:KT-III	72	枚			
	床 畳敷 半畳		D種 畳表:C2 畳床:KT-III	18	枚			
	塩ビ巾木		H=60	266	m			
	再利用巾木・畳寄 取付費		木製-30×90 塗装別途	357	m			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
壁	軽量鉄骨壁下地	50型	下地張りなし@300	101	m ²			
	軽量鉄骨壁下地	65型	下地張りなし@300	433	m ²			
	軽量鉄骨下がり壁下地	19型	H300～500	18.5	m			
	壁 石膏ボード(GB-R)		t=12.5 継目処理	840	m ²			
	壁 シーリング石膏ボード(GB-S)		t=12.5 継目処理	300	m ²			
	壁 石膏ボード(GB-R)		t=12.5 下地張り	105	m ²			
	壁 不燃メラミン化粧板		t3.0	67.4	m ²			
	壁 ビニルクロス		ボード面 素地B種共	1,720	m ²			
	壁 下地調整		RB種 合板面	218	m ²			
	壁 下地調整		RB種 モルタル面	670	m ²			
天井	壁(居室3) 下地補修		XPSt20&合板t4.0	18.0	ヶ所			
	軽量鉄骨天井下地	19型	下地張りなし@225 インサート含	342	m ²			
	木製直天下地		スギ 一等 45×60@303	374	m ²			
	天井 化粧石膏ボード(GB-D)		t=9.5 準不燃	716	m ²			
	天井 ガラスウール敷込		24K t100	237	m ²			
	天井 押入(2)		合板t4.0 木下地 W1800D450程度	12.0	ヶ所			
	天井廻縁		塩ビ	986	m			
	天井廻縁		杉-35×35 塗装別途	54.2	m			
	OS塗(糸巾300以下)	杉廻縁	木部 素地付着物除去	54.2	m			
	OS塗(糸巾300以下) 改修仕様	既存廻縁	木部 素地付着物除去	215	m			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
D6	2～4階 改修工事 ユニット・金物・雑工事							
	ユニットバス 1216		長寿社会対応同等仕様	18	組			
	同上組立工事費			18	組			
	キッチンユニット		流し台・ガス台・吊戸棚 レンジフード・水切棚・取付費共	18	組			
	下足入		ポリ合板フラッシュ	18	ヶ所			
	棚板		集成材t25D300 塗装別途	23.6	m			
	棚板		集成材t25D200 塗装別途	14.2	m			
	CL塗		工程B種 素地B種	19.8	m ²			
	壁見切B		ヒノキ-30×45 塗装別途	42.2	m			
	壁見切C		ヒノキ-30×80 塗装別途	42.2	m			
	敷居框		ヒノキ-60×120 塗装別途	29.3	m			
	OS塗(糸巾300以下)		木部 素地付着物除去	114	m			
	上框		ヒノキ集成材-75×90 塗装品	19.3	m			
	壁見切A		アルミ製	17.5	m			
	カーテンレール	ステンレス	ダブル	88.2	m			
	I型手摺		樹脂被覆製 φ34L600	36	ヶ所			
	L型手摺		樹脂被覆製 φ34 600×700	18	ヶ所			
	エアコンスリーブ		樹脂製 φ100 内外キャップ コア抜別途	36	ヶ所			
	給気レジスター		樹脂製 φ75 網付 コア抜別途	54	ヶ所			
	貫通穴明		100φ程度 t150～200	72	ヶ所			
	OS塗(糸巾300以下) 改修仕様	既存 付鴨居など	木部 素地付着物除去	194	m			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
E	物置棟 改修工事							
●	【直接仮設】							
	墨出 外壁改修			13.0	m ²			
	養生 外壁改修			76.6	m ²			
	整理清掃後片付 外壁改修			76.6	m ²			
	外部足場 脚立足場		7日 運搬費共	76.6	m ²			
●	【新設】アルミサッシ							
	AD-M1		SUS沓摺とも	2	ヶ所			
	AD-M2		SUS沓摺とも	22	ヶ所			
	同上取付調整費			1	式			
	同上運搬費			1	式			
●	【新設】ガラス							
	型板ガラス F4		清掃共 ガラス止別途	29.5	m ²			
	アルミパネル施工			29.5	m ²			
	ガラスシール 両面		SR-1	59.0	m ²			
●	【その他】							
	上枠		LGS65型	39.3	m			
	水切		カラーGL鋼板t0.4	39.3	m			
	面戸取合		スレート役物 大波軒先平面戸	39.3	m			
	建具周囲 防水モルタル充填		外部建具	172	m			
	壁モルタル塗り 外壁		仕上塗材下地 刷毛引き	4.6	m ²			
	防水型複層塗材E		下地調整(C-1)共 外壁CB面 凸凹状	4.6	m ²			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
F	外構工事							
	縁石		再生クラッシュラン 9-11-10 タイプ2	0.9	m			
	RC擁壁			2.3	m			
	アスファルト舗装 ※その他工事		A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン	271	m ²			
	舗装砂利地業		再生クラッシュラン	2.4	m ³			
	舗装機械運搬 ※その他工事		振動ローラー アスファルトフィニッシャー	1.0	往復			
	一般工事			1	式			
	その他工事			1	式			
	小計							

工種	名称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
G	解体・撤去工事							
G1	外装・共用部			1	式			
G2	1階バリアフリー			1	式			
G3	2～4階			1	式			
G4	物置棟			1	式			
G5	外構			1	式			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
G1	解体・撤去工事 外装・共用部							
解体	縦樋 撤去		VP管	36.0	m			
	床下換気口 撤去		スチール製 W400H160	4	ヶ所			
	窓手摺 撤去		スチール製 W1800H850	24	ヶ所			
	アルミガバリ 撤去		W400H200	6	ヶ所			
	掲示板 撤去		W900H600	3	ヶ所			
	郵便受 撤去		W1300H500	3	ヶ所			
	バルコニー避難ハッチ 撤去		スチール製600□ タラップ共 周囲ハツリ別途	6	ヶ所			
	【ER1】【ER3】コンクリート 撤去		カッター切、鉄筋出し共	6	ヶ所			
	【ER2】コンクリート 撤去		カッター切、鉄筋出し共	2	ヶ所			
	物干金物 撤去		スチール製	24	組			
	隔板 撤去(石綿作業レベル3)		スチール枠 石綿セメント板t6.0	20	ヶ所			
	アルミサッシ 撤去		戸のみ	9.5	m ²			
	ガラス 撤去			9.5	m ²			
	シーリング 撤去			39.6	m			
	カッター切		モルタル面	148	m			
	カッター切		コンクリート面	148	m			
	CB 撤去		ブレーカー	5.8	m ³			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
積込	コンクリート類			0.6	m3			
	がれき類			7.6	m3			
	廃プラ			0.4	m3			
	金属くず			1.2	m3			
	石綿含有ボード			0.2	m3			
運搬	コンクリート類		4t積(コンクリート類) 【大協組】16.4km	0.6	m3			
	がれき類		4t積(コンクリート類) 【山陰クリエート】6.1km	7.6	m3			
	廃プラ		4t積(ボード類) 【山陰クリエート】6.1km	0.4	m3			
	金属くず		4t積(ボード類) 【大成商事】3.7km	1.2	m3			
	石綿含有ボード		4t積(ボード類) 【まつえ環境の森】25.6km	0.2	m3			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
G2	解体・撤去工事 1階バリアフリー							
解体	カーテンレール 撤去		SUS製	40.8	m			
	キッチンユニット 撤去		流し台、ガス台、吊戸棚	6	ヶ所			
	浴槽・バランス釜 撤去			6	ヶ所			
	アルミサッシ 撤去		枠共 周囲ハツリ別途	40.9	m ²			
	鋼製戸 撤去		枠共	9.1	m ²			
	建具周囲ハツリ		20cm	181	m			
	木製戸 撤去		枠共	141	m ²			
	ガラス 撤去			64.8	m ²			
	シーリング 撤去			192	m			
	床シート類 撤去(石綿作業レベル3)		アスベスト含有	32.4	m ²			
	フローリング 撤去			58.6	m ²			
	畳 撤去		1畳	84	枚			
	畳 撤去		半畳	12	枚			
	床下地板 撤去			125	m ²			
	床組 撤去		ころばし	184	m ²			
	壁モルタル・プラスター 撤去			265	m ²			
	壁合板・ボード 撤去		一般 1重張り	379	m ²			
	壁ボード 撤去(石綿作業レベル3)		アスベスト含有 1重張り	26.5	m ²			
	壁断熱材 撤去		XPSt20	65.5	m ²			
	壁クロス 撤去			136	m ²			
	木製巾木 撤去			199	m			
	壁下地 撤去			153	m ²			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
G3	解体・撤去工事 2～4階							
解体	カーテンレール 撤去		SUS製	122	m			
	キッチンユニット 撤去		流し台、ガス台、吊戸棚	18	ヶ所			
	浴槽・バランス釜 撤去			18	ヶ所			
	アルミサッシ 撤去		枠共 周囲ハツリ別途	74.0	m ²			
	建具周囲ハツリ		20cm	327	m			
	木製戸 撤去		枠共	47.0	m ²			
	ガラス 撤去			194	m ²			
	シーリング 撤去			575	m			
	床シート類 撤去(石綿作業レベル3)		アスベスト含有	273	m ²			
	畳 撤去		1畳	252	枚			
	畳 撤去		半畳	36.0	枚			
	カッター切		モルタル面	472	m			
	床モルタル 撤去			162	m ²			
	壁モルタル・プaster 撤去			174	m ²			
	壁合板・ボード 撤去		一般 1重張り	583	m ²			
	壁ボード 撤去(石綿作業レベル3)		アスベスト含有 1重張り	79.6	m ²			
	壁断熱材 撤去		XPSt20	27.2	m ²			
	壁クロス 撤去			409	m ²			
	木製巾木 撤去			600	m			
	壁下地 撤去			385	m ²			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
H1	発生材処分費 外装・共用部							
	コンクリート類		再資源化 【大協組】16.4km	1.6	t			
	がれき類		【山陰クリエート】6.1km	7.6	m3			
	廃ブラ		【山陰クリエート】6.1km	0.4	m3			
	金属くず		H4	1.4	t			
	石綿含有ボード		【まっえ環境の森】25.6km	0.2	m3			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
H4	発生材処分費 物置棟							
	がれき類		【山陰クリエート】6.1km	0.3	m3			
	木くず		再資源化 【大成商事】3.7km	0.8	t			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
H5	発生材処分費 外構							
	コンクリート類		再資源化 【大協組】16.4km	24.4	t			
	アスファルト類		再資源化 【大協組】16.4km	68.7	t			
	伐根くず		再資源化 【大成商事】3.7km	0.6	t			
	金属くず		H4	0.1	t			
	小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	現場管理費(積上分)							
	産廃税			68.2	t			
	小計							

1 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。
- (5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

2 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (5) 工事に使用する資材については、極力有害性VOC（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

3 工事の安全確保について

- (1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。
- (2) 労働安全衛生法第59条、第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

- (3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事務データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

4 建設機械の使用について

- (1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
(2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

5 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年法律第131号）の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

6 ダンプトラック等、による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

7 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

8 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に参加することができないと認められる場合は、この限りでない。
(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原

則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- (4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後1ヶ月以内に提出しなければならない。

9 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

10 労働基準法等の遵守

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

11 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 鳥取県暴力団排除条例（平成23年3月鳥取県条例第3号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
- (2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

12 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあ

るものでなければならない。

- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

16 契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

17 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) この工事の受注者が、同一敷地内において工期が重複または継続する工事も受注している場合は、共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）を調整したもので変更契約する。
- (3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (5) 特定フロンの使用の削減に努めること。
- (6) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

特記事項 [施工条件明示事項]

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明 示 事 項	条 件
1 工 程	<p>1. 他工事との調整</p> <p>2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限</p> <p>3. 関係機関等との協議</p> <p>4. 工事の指定部分</p> <p>5. 地下埋設物等の調査</p> <p>地下埋設物の移設が予定されている場合。</p>	<p>工事名 <u>市営河崎住宅49R 1棟長寿命化改善電気設備工事</u> <u>市営河崎住宅49R 1棟長寿命化改善機械設備工事</u></p> <p>上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。</p> <p>制限される工事 ・ <u>全般</u> ・ _____</p> <p>制限の内容 _____</p> <p>本工事において、関係法令上必要であれば、関係機関と協議を行うこと。</p> <p>_____ については、 平成 ____年 ____月 ____日までに完成させること。</p> <p>・ _____ は事前調査を行い処理すること。 ・ _____ は調査済である。 ・ _____</p> <p>移設期間 _____</p>
2 用 地	<p>1. 工事用車輛の駐車場</p>	<p>・ 駐車場がないため確保する必要がある。 ・ 敷地内に一部確保できる。 □ 原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。</p>
3 公 害 対 策	<p>1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限</p> <p>2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。</p>	<p>内 容 <u>関係法令を遵守すること。</u></p> <p>・ 近隣家屋等の _____ ・ 事前事後の状況の写真を付して記録し ・ 事後 (_____) の調査を行い、万全を期して施工すること。 □ 工事概要について住民説明を行うこと。 □ 近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。</p>
4 安 全 対 策	<p>1. 交通安全施設等の指定</p>	<p>□ 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 □ 交通整理の必要日数 <u>180</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計名 (交代要員[有・無])、交通誘導員Bを合計 <u>180</u> 名 (交代要員[有・<input type="checkbox"/>無]) を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>
5 工 事 用 道 路	<p>1. 一般道路を搬入路として使用する場合。 ・ (ア) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等に制限がある場合。 ・ (イ) 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合。</p> <p>2. 仮道路を設置する場合</p>	<p>□ 運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。</p> <p>・ 制限の内容 _____</p> <p>・ 処置の内容 _____</p> <p>・ 幅員 _____ m ・ 延長 _____ m ・ 切込碎石 厚 _____ cm ・ その他 _____</p> <p>・ 工事終了後の処置 _____</p>

明示項目	明示事項	条件
<p>6 仮設備</p>	<p>1. 仮囲い等の範囲、構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事範囲をバリケード等により明確にすること。 ・ 敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・ 山留めは _____ 工法とし、その施工条件は図示による。 ・ 各工事共通の揚重機械として _____ を設置しその施工条件は図示による。 ・ 敷地周辺の _____ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・ その他労働安全衛生法に基づく仮設備
<p>7 建設副産物の処理</p>	<p>1. 建設発生土の処理 ・ (ア)他工事等流用 ・ (イ)建設技術センター ・ (ウ)民間残土受入地</p> <p>2. 分別解体等</p> <p>3. 再資源化施設への搬出 (施設の名称・受入れ費用)</p> <p>(受入れ時間帯) (受入れ条件)</p> <p>4. 最終処理等</p> <p>5. 産業廃棄物処理</p> <p>6. 産業廃棄物の処理に係る税</p>	<p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。</p> <p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。 なお、処理費として 1 m³ 当たり _____ 円をセンターに支払うこと。</p> <p>建設発生土は _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。なお、処理費として 1 m³ 当たり _____ (税別) 円を _____ に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例) 砂質土、コーン指数 300KN/m² 以上)</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。</p> <p>コンクリート塊 _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 淀江町 地内の _____ 大協組 (運搬距離 _____ 1.6 km)、費用 1 t 当たり _____ 800 円</p> <p>アスファルト塊 _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 淀江町 地内の _____ 大協組 (運搬距離 _____ 1.6 km)、費用 1 t 当たり _____ 1,100 円</p> <p>建設発生木材 _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 夜見町 地内の _____ 大成商事 (運搬距離 _____ 4 km)、費用 1 t 当たり _____ 12,000 円</p> <p>その他 (_____) _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用 1 t 当たり _____ 円</p> <p>8 時～17 時 (平日) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は 500mm 以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ 4.0 cm 以下、長さ _____ 6 m 以下であること。 エ 2 次公害発生の恐れのある物質 (廃油等) を含まないこと。</p> <p>石綿含有建材については、_____ 松江 _____ 市・町・村 _____ 新庄町 地内の産業廃棄物処理場への搬出 (片道運搬距離 _____ 2.6 km) を想定し、その費用として 1 t 当たり _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。</p> <p>産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____ 68,300 円見込んでいる。</p>
<p>8 建設副産物の使用</p>	<p>1. 建設発生土の使用</p> <p>2. 再生資源の使用</p>	<p>_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>ア Co 雑割材は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>ウ 再生クラッシャーラン [規格：Rcc-40] は、使用箇所： _____ 敷地内通路 に使用する。 再生コンクリート砂 [規格：RS- _____] は、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>エ 再生加熱アスファルト混合物 [規格： _____] は、使用箇所： _____ 敷地内通路 に使用する。</p> <p>オ その他再生資材 [資材名： _____] [規格： _____] は、使用箇所： _____ に使用する。</p>

明示項目	明 示 事 項	条 件
9 支 障 物 件	1. 地上、地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。	移設・撤去 防護等の方法 _____ _____ _____
10 濁 処 理	1. 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	工法 処理の方法 放流先
11 そ の 他	<p>1. 工事実績情報の登録</p> <p>2. 支給材料及び貸与品がある場合</p> <p>3. 工사용電力等を指定する場合</p> <p>4. 景観への配慮</p> <p>5. そ の 他</p>	<p>工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に、工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。</p> <p>品 名 _____ 数 量 _____ 品質、規格又は性能 _____ 引渡場所 _____ 引渡時期 _____</p> <p>内 容 _____</p> <p>ア 本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ 通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。 ・近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講じること。 ・契約図書の作成は、落札者において行うこと。 ・アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。 ・当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した平成30年度営繕工事設計標準単価（平成30年4月改訂版）により算出している。 ・試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。 ・本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。 ・交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいる。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。） ・29年度に設計済みの図面のため、部課名は都市整備部住宅政策課と読み替える。